地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	比婆いざなみ街道振興協議会			代表者名	荒木 卓夫
担当者部署	庄原市役所			連絡先電話番号	0824-73-1278
担当者役職	主事	担当者氏名	西村 陸斗	連絡先E-mail	
住所	727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

1-2. 推薦団体(「区グ」が、「励識会」なたは「NFO・同工会・八字寺」の場合のの八分)					
団体名	庄原市役所	連絡先部署	企画振興部 いちばんづくり課		
担当者氏名	西村 陸斗	連絡先電話番号	0824-73-1278	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	田中 淳一	
評価	大変よい	
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	が変化を実感することができたため。	方や意識といった根本的な部分からアドバイスをいただき、研修を受けた者とで、今後事業を行っていくうえでの流れをイメージしやすかったため。
アドバイザー への要望事項		

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

事業の最終的な目指す姿

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月25日	10時00分	13時00分		180
	派遣形態	支援・助言(オンライン))		

4.報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可 ○掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果			
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数	
	比婆いざなみ街道振興協議会 委員・事務局員	6 <mark>人</mark>	
5-2. 支援を受けるにあたって目指し	た成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決し	た成果・効果	
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	これまでの研修会より、比婆いざなみ街道をPRしていくためには、理想とするビジョンを描きバックキャスティングの視点で推進していくこと、また、若い人、女性が主体となって推進していくことの重要性について理解しました。しかし、具体的な動きのイメージができていませんでした。		
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	令和3年度以降の新たな推進体制・考え方についてアドバイスをいただき、実現のために必要な要素を知ること。また、それらを踏まえ、確実に行動できるよう体制を整えること。		
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)		最り返りをしていただき、その後、プロジェクトのこられた事業や他市町の事例を踏まえ、ご紹介いたみ街道をPR・推進していくうえで、留意すべき点	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	具体的にイメージができていなかった令和3年度以降の推進体制について、協議を重ねていく中でだんだんと具現化され、「やってみたい」という意見や提案が委員や事務局から出るようになりました。 いただいたアドバイスをもとに、比婆いざなみ街道をPR・推進していくことができるよう、努力してまいります。		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修会に参加された委員とされなかった委員との間で意識の差が生じていると思われるため、理解いただけるように説明しなければならない。		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。アンケートの対象者が限られるため、実施しなかった。		
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



